# 社会資本総合整備計画　事後評価書

平成３０年　３月２０日

| | | | |
|---|---|---|---|
| 計画の名称 | １　　災害に備えた安心・安全なまちづくり（防災・安全） | | |
| 計画の期間 | 平成２４年度　～　平成２８年度　（５年間） | 交付対象 | 静岡県　東伊豆町 |

計画の目標

東伊豆町は、伊豆半島の東海岸の中ほどに位置し、相模湾に位置し、丘陵で分かれているため、海岸線を縦に走る唯一の主要道路である国道１３５号線が津波や山がけ崩れなどにより寸断されれば、地域の孤立化が想定される。これまで東海地震を対象に「減災」を主に防災対策を講じてきた町にとって、東日本大震災の大津波は想像を超えるものであり、南海トラフ巨大地震による津波想定など、今後の東海地震を含む大規模地震災害に対する津波対策を見直すことが最重要課題である。
このことを踏まえ、津波避難場所の確保や地域防災拠点の耐震化、防災教育拠点、避難所として機能強化を図るなど、地域の防災力の強化、住民が安心安全に生活できる町づくりを目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

・耐震化された地域防災拠点の整備率を０％から６６％に向上させる。
・津波からの避難所整備率を４０％から８３％へ向上させる。

| 定量的指標の定義及び算定式 | 定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H24当初） | 中間目標値（H26末） | 最終目標値（H28末） | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ① 防災拠点の耐震化率 | 0% | 50% | 66% | |
| ② 津波からの避難場所の整備 | 40% | 50% | 83% | |

| 全体事業費 | 合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ） | 516.70百万円 | A | 413.98百万円 | B | 0百万円 | C | 102.72百万円 | 効果促進事業費の割合 Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ） | 19.9% |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## 事　後　評　価　（中　間　評　価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

| 事後評価（中間評価）の実施体制 | 事後評価（中間評価）の実施時期 |
|---|---|
| 庁内の組織による評価 | 平成30年2月 |
| | 公表の方法：東伊豆町ホームページに掲載 |

## １．交付対象事業の進捗状況

**交付対象事業**

A1　基幹事業

| 番号 | 事業種別 | 地域種別 | 交付対象 | 直接間接 | 事業者 | 道路種別 | 省略工種 | 要素となる事業名（事業箇所） | 事業内容（延長・面積等） | 市町村名 | 事業実施期間（年度） H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | 全体事業費（百万円） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1-A1-1 | 防災 | 一般 | 東伊豆町 | 直接 | 東伊豆町 | | 新築 | 都市防災総合推進事業 | 津波避難施設・防災拠点整備 | 東伊豆町 | | | | | | 413.98 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小計（道路事業） | | | | | | | | | | | | | | | | 413.98 | |
| 合計 | | | | | | | | | | | | | | | | 413.98 | |

B　関連社会資本整備事業

| 番号 | 事業種別 | 地域種別 | 交付対象 | 直接間接 | 事業者 | 省略工種 | 要素となる事業名 | 事業内容（延長・面積等） | 市町村名 港湾・地区名 | 事業実施期間（年度） H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | 全体事業費（百万円） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | | | | | ・・ | |
| 合計 | | | | | | | | | | | | | | | 0 | |

| 番号 | 備考 |
|---|---|
| | |

C　効果促進事業

| 番号 | 事業種別 | 地域種別 | 交付対象 | 直接間接 | 事業者 | 省略工種 | 要素となる事業名 | 事業内容 | 市町村名 港湾・地区名 | 事業実施期間（年度） H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | 全体事業費（百万円） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1-C1-1 | 防災 | 一般 | 東伊豆町 | 直接 | 東伊豆町 | | 津波監視カメラ設置事業 | 津波監視カメラ設置 | 東伊豆町 | | | | | | 14.04 | |
| 1-C1-2 | 防災 | 一般 | 東伊豆町 | 直接 | 東伊豆町 | | 奈良本地区避難地整備事業 | 危険老朽建物撤去事業 | 東伊豆町 | | | | | | 85.03 | |
| 1-C1-3 | 防災 | 一般 | 東伊豆町 | 直接 | 東伊豆町 | | 東伊豆町防災センター整備事業 | 建設用地造成事業 | 東伊豆町 | | | | | | 3.65 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | ・ | |
| | | | | | | | | | | | | | | | ・ | |
| | | | | | | | | | | | | | | | ・ | |
| | | | | | | | | | | | | | | | ・ | |
| | | | | | | | | | | | | | | | ・ | |
| 合計 | | | | | | | | | | | | | | | 102.72 | |

| 番号 | 一体的に実施することにより期待される効果 | 備考 |
|---|---|---|
| 1-C1-1 | 1-A1-1都市防災総合推進事業に位置付けられている事業と一体的に実施することにより、住民の防災拠点等避難施設への迅速な避難誘導が確保される。 | |
| 1-C1-2 | 1-A1-1都市防災総合推進事業に位置付けられている事業と一体的に実施することにより、奈良本地区(熱川地区)に安全な避難場所が整備できる。 | |
| 1-C1-3 | 1-A1-1都市防災総合推進事業に位置付けられている事業と一体的に実施することにより、稲取地区(田町地区)に安全な拠点が整備できる。 | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

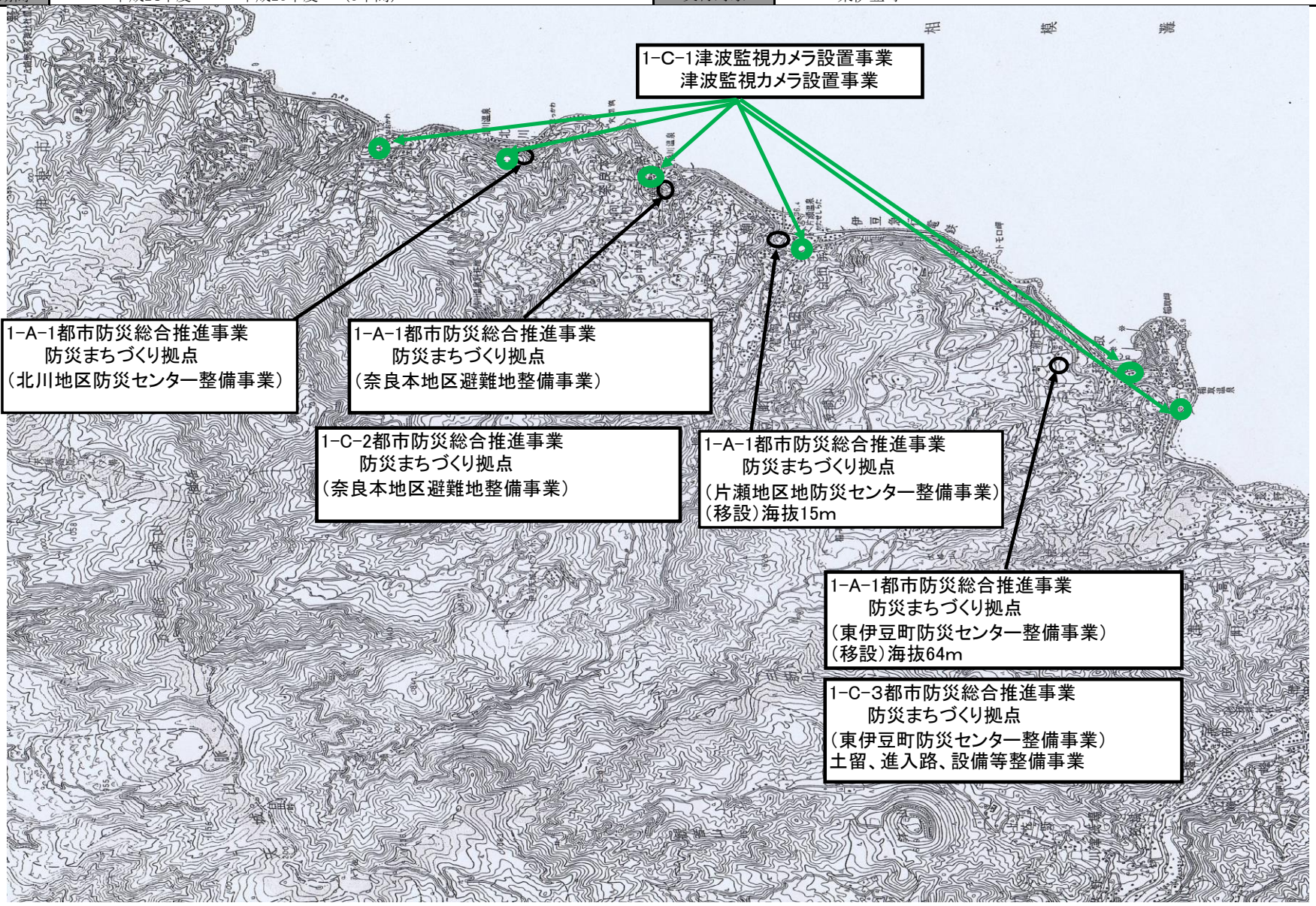
※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

## ２．事業効果の発現状況、目標値の達成状況

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況 | ・耐震化されていない６地区の地域防災拠点の内、２地区の整備が完成したことにより当該地区の耐震性が確保された。<br>・新たな地震津波被害想定により、津波避難施設、防災拠点の整備が必要となった６箇所の内、３箇所で津波浸水区域外の津波退避場所、地域防災拠点を整備した。 | | | | |
| Ⅱ定量的指標の達成状況 | 指標①（地域防災拠点の耐震化率） | 最終目標値 | 66% | 目標値と実績値に差が出た要因 | ６箇所中、２箇所実施済み。<br>地域での調整に時間を要しているため計画どおりに事業を実施できなかったため。 |
| | | 最終実績値 | 33% | | |
| | 指標②（津波からの避難場所の整備） | 最終目標値 | 83% | 目標値と実績値に差が出た要因 | ６箇所中、３箇所実施済み。<br>地域での調整に時間を要しているとともに、事業費の確保ができず計画どおり事業を実施できなかったため。 |
| | | 最終実績値 | 50% | | |
| | 指標③ | 最終目標値 | | 目標値と実績値に差が出た要因 | |
| | | 最終実績値 | | | |
| Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述） | | | | | |

## ３．特記事項（今後の方針等）

平成２９年以降についても、継続して「地域防災拠点の耐震化」及び「津波からの避難所の整備」について推進していく。

（参考図面）防災まちづくり拠点

| 計画の名称 | 災害に備えた安心・安全なまちづくり(防災・安全) | | |
|---|---|---|---|
| 計画の期間 | 平成24年度　～　平成28年度　（5年間） | 交付対象 | 東伊豆町 |